



6) 考えることさえできない時間、そして考えられない偶然の積み重ねで、生命が守られる地球環境がある。この地球環境の保全こそ、全てに優先されるべきである。この方策も含め、世界中の研究所に、100年後の人類生存のための研究に着手することを要請する。